



最後の社会奉仕

「三百字の遺言」から

今年で72歳になったのに、まだ若い気持ちで50歳代のように思い、死ということは考えたことがない。毎日の新聞を見ると、いちばん最初に見るのは死亡案内欄。知った人が載っていると、僕もいつかはこのように新聞に出る日が必ず来る。その時の準備にまず、人に迷惑をかけないように、個人、会社の借金返済を考えておかねばならぬ。家族や会社にはなるべく負担がかからないように、平生から計画を立てて、いつも頭の中に貸借対照表を置いて考えて経営を行っている。

それと大事なのは、二つの瞼が閉じたならば、富山大学附属病院へ「親父は献眼登録してあるから献眼をお願いします。」と連絡してほしい。

日本では、角膜移植を一日千秋の思いで待っている人が5千人以上もいるのが現状である。

眼球摘出は少し可哀想と思うかもしれないが、二つの眼球が二人の人に役に立つならば幸せだ。これが俺の最後の社会奉仕だ。気にかける事がないから速やかに連絡を頼む。これが俺の遺言です。(Mさんの稿より)

+ < 1月の事業実績の概要 >

● 献眼登録者数	0名
累計	19,062名
● 献眼者数	2名
累計	2名
● 寄付金収入	0円
累計	0円
● 賛助会費収入	3,000円
累計	3,000円
● 助成金収入	0円
累計	0円
● 募金収入	9,845円
累計	9,845円

お二人から献眼がありました。

●八尾市民病院において、70歳代の女性の方からご献眼いただきました。献眼登録はされていませんでしたが、ご家族の中で普段から献眼についてお話されていたということで、その意思を尊重されご連絡いただきました。

●黒部市民病院において、70歳代の男性の方からご献眼いただきました。

献眼された奥様の同級生が2年ほど前に献眼されておられ、きれいにお化粧されていて穏やかな顔だったので、主人の献眼については、まったく抵抗なく、また、息子さんからも、同じ地域で献眼された方がおられて、ご理解された様で最後に誰かの役に立つのならとの思いでご提供にされたそうです。

寄付金・助成金・賛助会費・寄付金(1/1~1/31 現在)敬称略

賛助会費 個人

・佐藤善政(富山南LC)

募金

・その他 9,845円

<お知らせ>

2月23日に理事会・評議員会を開催予定です。関係役員の皆さまはお忙しとは存じますが、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

Toyama Eye Bank

〒930-0194 富山市杉谷 2630 番地 Tel 076-434-5710 Fax076-436-0146

URL: <http://www.toyama-eyebank.com> E-mail info-toyama-eyebank.com